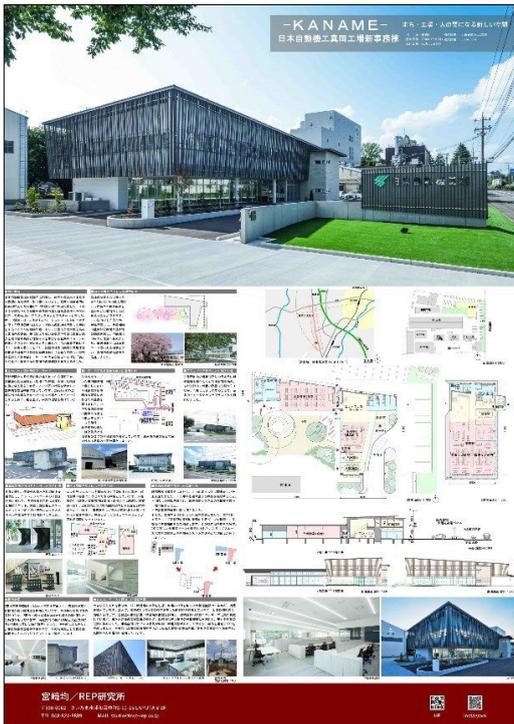


最優秀賞【事務所部門】



作品名： KANAME

応募者： 水野 通仁

設計者： 宮崎均／REP研究所

施工者： 剋真建設㈱

会社など事業を休止させることができない改修工事では、工期を分けることが最良の選択肢であり、事務所ゾーンの1期工事、会議室ゾーンの2期工事を分ける計画により、継続的な業務をうまく可能にさせているようです。この効果は、全体がL字型平面のため、一体よりも、exp.jで分けるほうがコストを含め、建物構造に都合がよいことを併せ持っている優れた計画であると思います。

また、濃いルーバーは下地や外壁も濃色とする方が無難なところですがそこはあえて白色系を採用しているようです。これは用途上不可分な、いくつかの建物（中庭方向の事務所棟西面の上下階の一体感や、会議室ゾーン建物、周囲の工場建物）がある状況の中、より統一感をもたせるよう全体を白色系に合わせ、ブランド化の完成度を高めてとても良いと思われま。

創業時からの中庭の桜の保存整備については、来館者の動線からは少ししか見せていようで、社員用としての保存であり鼓舞する効果をもたせたい発注者の意図が想像できます。これによりストーリー性のある設計を感じさせた良い設計と建築だと思ひますし、受賞となったものと考えられます。

最優秀賞【共同住宅部門】



作品名： e'walu Shirokane

応募者： 水野 通仁

設計者： 宮崎均／REP研究所

施工者： ㈱岩本組

白金にあるこの建物は、周辺を学校や・研究所等の文教施設や新旧の店舗が混在するまち並みに囲まれても違和感の無い、地域に溶け込むように行んでいる。外観は、杉板型枠打ち放しと質感のあるレンガタイルのバランスが非常に美しく、開口でファザードに変化を持たせた階段から屋上に続く二色のルーバーが優しく包み込んでいるように感じられ、そのルーバーが手摺となった開放感のある屋上のデッキテラスも魅力的だ。内部は、白と木の組み合わせで細部にわたりシックな仕上がりとなっていて設計者のこだわりがうかがえる。

e'walu Shirokane は、白金という歴史のあるまちと地域性を充分に考慮されてまちに素敵に調和した白金の地に相応しい作品です。

共同住宅部門の最優秀賞おめでとうございます。関係者様の益々のご活躍に期待いたします。